



やらまいか

クラブテーマ：参加して、行動して、ロータリーを楽しむ Let's Enjoy Rotary

会長/大木健市 幹事/林 博宣 会報委員会/中西弘徳・宇野秀幸 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第8回 通算1492回 平成29年9月1日(金)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/4 修正出席率
		66名	31名	50%	98.4%

ゲスト：ガバナー 神野重行さん 地区幹事 加藤定伸さん 地区副幹事 小林泰敏さん(名古屋名駅)
ビジター：メイクアップ16名

ガバナー公式訪問合同例会

★会長挨拶 蒲郡 RC 鈴木康仁会長



こんにちは。神野ガバナー、加藤地区幹事、小林地区副幹事におかれましては、遠路はるばる蒲郡にお越し頂き

ましてありがとうございます。豊川宝飯 RC の皆様と合同で開催する例会ということで、豊川宝飯 RC の皆様にも、蒲郡の地までお越し頂きまして誠にありがとうございます。歓迎を申し上げます。

この後、神野ガバナーより直接お話を伺います。本年度の RI のテーマは「変化をもたらす」です。そして、地区方針が「今日からのロータリーを楽しもう」です。これは皆様ご存知の通りです。ガバナー方針の行動指針は、①クラブ中期計画策定のためのクラブ戦略委員会の設置 でございます。この話を聞いた時に、実際には驚きを感じました。色々と考えてみますと、この事は、我々のクラブの状況を考えると、今しかないと思うようになりました。国内、国外世界情勢をみればわかる事です。混迷の世の中、そういう時にこ

そ、地元根付く我々が、ロータリー活動を考えていくのは、今しかありません。今、知恵を出し合って、考えていかなければならない事だと思っています。

三人寄れば文殊の知恵と言われていました。3人で文殊の知恵になるのかな？ 実は3人に深い意味があります。単に相談をするならば2人で良いです。3人で異なった意見を取り入れて模索することが文殊の知恵だと思います。ぜひ、ロータリーの中でも文殊の知恵が出るように、頑張っていければ良いかと思っております。

本日の時間が、皆様に取りまして、素晴らしい有意義な時間であることを心から願って、挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願ひします。

★幹事報告 林 博宣幹事

9月5日の職場見学例会について

★幹事報告 蒲郡 RC 堀井慎二幹事

会議のお知らせ

ニコボックスの紹介

地区ガバナーより

豊川宝飯 RC 会長幹事より

蒲郡 RC 会長幹事より



本年度、この地区のガバナーをしております神野重行です。どうぞ、よろしくお願ひします。

この蒲郡クラシックホテルは、私の思い出の場所です。私の父は、豊橋の出身でございます。三河の血が流れております。小中学生の頃に、祖父が、年末年始に上にある当時の蒲郡ホテルで過ごしていたので、一緒に連れて来てもらった記憶があります。当時と建物は全く変わっていませんので、今日は少し早く着きましたので、上のホテルに3人で行って来ました。地区幹事は初めて来たので、クラシックなエレベーターに乗って2階に行き、ラウンジとレストラン、そして竹島を望む景色を案内しました。地区幹事は、今年の年末に家族で来ようかと言っていました。蒲郡 RC の皆様、蒲郡クラシックホテルの皆様へ代わって、私が営業活動させて頂きました。

そんな思い出のあるこの地で、今日、蒲郡 RC のホストで、豊川宝飯 RC との合同例会を開いて頂き、本当に嬉しく思います。

先程の食事の様子を拝見して、和やかに良い雰囲気でした。しかもテーブルに2クラブが半分ずつ座られているということを知りまして、本当に和気あいあいと交流されており、ロータリーならではの交流でした。そして、これが三河人の良さだと思いました。本日のこの設営にご苦勞をお掛けしました。ありがとうございました。

今年度始まって、最初のロータリーの友の7月号には、日本の私の同期生34人のガバナーが紹介されています。その紹介文を書くのは、だいたい地区幹事になる人です。このページは、加藤地区幹事が



書いた訳です。どんなことを書きますか?と相談があれば話をしましたが、全く相談もなく書いて、ロータリーの友に提出をしまいました。私の紹介文のタイトルは「紳士は白くま? 牛?」ってことで私もビックリしました。同期生のガバナーのタイトルと比較したくなります。このタイトルをつけるのは、ロータリーの友の編集長だということが、後で分かりました。

私が、最初にロータリーに入ったのは金沢です。金沢の話をしていたら、金沢は寒いよね?と聞かれて、何にも寒くないと答えました。それで、金沢では1度もコートを着たことがないし、東京のいる時もコートを着たことがなくて、寒さには強いという話をしました。金沢でのあだ名が「白くま君」と言われていた話を、それを覚えていて、このタイトルが付いたことが、後で分かりましたが、後の祭りですね。大きな顔が2つならんていいますが、隣は、もちろん家内でございます。他の人を載せる訳には行きません(笑)。ガバナーになりますと、2人3脚で協力してもらっています。毎日、感謝をしています。

今日の例会前に、両クラブの会長幹事と長い時間懇談会をしました。両クラブの実情などもお伺いし、それぞれのロータリーの想いなども伺い、とても有意義なひと時でした。それぞれのクラブの状況につきましては、大須賀ガバナー補佐からも報告を頂いております。それぞれのクラブが作られたクラブ計画書にも詳しく会長方針や運営方針、活動計画など、しっかり出して頂いており、読ませて頂きました。両クラブとも、会員の皆様が、地元に着したスタイルで、それぞれ奉仕活動にご精進を頂いており、地道に活動をして頂いております。それについて、私からは、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

特に、豊川宝飯 RC におかれましては、3年計画で答礼人形ミス愛知里帰り展の活動支援を続けられているということで、現在は、名古屋市博物館で展示され、9月10日まで行われるとのことで、しっかりと活動を継続して続けて来られたことは、大変嬉しく拝聴しました。

名古屋からこちらに参りますと、遠路ご苦勞様と言って頂く訳ですが、逆に両クラブの皆様に取りましては、名古屋の地区の事務所も遠い所になる訳です。それにも関わらず、

地区の委員会活動に遠路お出掛け頂き、ご協力を頂き、更に地区への出向などのご支援を頂きまして、皆様方に御礼を申し上げます。

蒲郡 RC 様には、来年度の地区大会の準備に取り掛かって頂いている訳です。地区大会としては、久しぶりに名古屋を離れる大会になります。ぜひ、この地ならではの皆さんに良い記憶として残る地区大会に作り上げて頂きたいと思います。私も、今年度は精一杯お手伝いをさせていただきます。次年度の村井ガバナーは、一緒になって、一生懸命に取り組んで頂けると思いますので、皆様方のお力添えをよろしくお願ひします。

両クラブが現在進めておられる地域での奉仕活動、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、それぞれ今後益々の磨きをかけて頂きまして、それと同時に、クラブ戦略委員会でしっかりと十二分にご検討頂きながら、有意義な奉仕活動にして頂きますように、合わせてお願ひを申し上げます。

今度の RI 会長テーマは、「ロータリー：変化をもたらす」です。その意味は、各クラブのクラブ計画書にもしっかりと載せて頂いていますし、大須賀ガバナー補佐からも説明があったと思いますので、手短かにまとめて説明します。

RI 会長の挨拶は、クラブ計画書に載せて頂いておりますし、ロータリーの友 7 月号、ガバナー月信 7 月号にも載せています。それを要約すると、ロータリーは、自らの職業の倫理性を高め、それを通して世界で良い事をしようという理念を変えることは決してありません。その行動は、時代と共に変化させてきています。今、この時代だからこそ、われわれロータリーは、目的と理念を大切に守りつつ、世界で良い事をしようとする自分たちの奉仕活動、これを周りの方々に電波して行く事が求められています。

それにはまず、私たちが行動することによってロータリー活動の意義と楽しさ、これを感じる事が大切です。それは、自らを変え、そして周りを変えていく力になるでしょう。更に、世の中で良い事をしよう、それを自分の務めと信じる人が集まる団体、地域社会と世界に良い変化を生み出したい、という願ひをロータリーを通じで実現できる、そう思った人が集まった組織がロータリーなのです。それだから、ロータリーは、どのような団体かではなく、何をしている団体が定義され

たいです。奉仕の行動を通じて、自分自身を含めて、人々の人生に変化をもたらそう。これが RI 会長のメツセージだと思います。

私の RI 会長テーマへの想い、この地区に対する想い、地区方針の話をしします。私は、今年 1 月の国際協議会に出席しました。ガバナーエレクトの最終の勉強会であります。RI 会長エレクトの講演を聞きました。この人は、この大変革の時代の我々ロータリーのリーダーとして相応しい人だなと感じを受けました。それは、第 1 にロータリーとして初めて地球環境問題に言及し、それに対しての行動を提案したこと。第 2 に我々の行動によって、周りをも変えていこうという考え方をはっきり打ち出したこと。第 3 にロータリーの未来に向けての課題、問題点 2 つを明確に指摘したことです。

第 1 の地球環境問題については、今までも議論をされて来たようですが、これに対する具体的に取り組みの提案は、イワン・ライズ会長が初めてです。日本のように 3 分 2 が森林という国ですら、東日本大震災の被災地は、まだまだ植林が必要だと言われています。世界でみますと、砂漠化が進み、水の資源を確保したい、環境問題が大変悪化している、さらに全世界的に大気汚染の解消も含めて、問題が山積の中です。未来に向けて、我々ロータリーとして、地球上に住む人類のみならず、全ての生物に対して分け隔てなく出来る 1 番良い事を、RI 会長として協力要請をされたと思います。両クラブの皆様は、来年に向けての取り組みに感謝申し上げます。

第 2 は、ロータリーの基本、原点と言われている職業奉仕の再認識というふうに捉えることも出来ます。ロータリーは、自分たちが自らの職業の立場を通して、世界で良い事をしよう、奉仕活動を行ってきた訳です。それ以上に、我々の周りの人々にロータリーの活動を理解してもらい、共感してもらえれば、良い事の幅がもっと広く深くなることを認識して下さいという呼び掛けです。その前に私たち自身が、ロータリーの奉仕活動を通じて、自らの喜びを強く大きく感じなければ、周りを動かすことは出来ません。それが前提です。

第 3 は、今までもずっと言い続けてきた話です。ロータリーの未来を見据えて話として問題定義をされました。これからのロータリーを担っていくメンバーに、それぞれの立場で真剣に考えてほしいと訴えました。私も直

感を覚えました。昨年7月のRI規定審議会で、クラブ裁量が大幅に拡大がされました。今年度から、クラブに戦略委員会、将来を見据えた議論する委員会を設置するようお願いをしました。両クラブとも、すでに委員会を作って頂き、どのように議論をしようかお考えと伺いました。会長幹事には、私の希望、意見を申し上げさせて頂きました。今後、この委員会を有効にお使い頂き、クラブの発展に結びつけて頂ければと思っております。

RI会長は、ロータリーの組織としての課題として2つあげました。1つは会員の男女比率の問題、もう1つは会員の平均年齢の問題です。男女比率の問題は、ロータリーがアメリカで生まれ育った団体で、その112年の歴史の中で、1989年までは男性だけの団体でした。30年ちかく経って、世の中と同じ男女のヒフティヒフティは、そんなに急いで実現する話ではないと思います。クラブの皆様方が、クラブの自由裁量の中でご検討頂き、決めて頂ければと思っております。ただ、我が地区は、女性比率は4.1%です。全世界の同期のガバナー530名のうち、110名以上が女性ガバナーです。パートナーとしてご主人が同行されていました。世界から見ても2割強が女性会員です。日本は東京が13.5%、神奈川・福岡・大阪・兵庫12%、全国平均は11.1%です。愛知県の4.1%は低すぎると思います。世の中では、男女の区別をつける差別をつけることは出来ない時代になっています。今後、クラブ戦略委員会でご検討頂いて、クラブで決めて頂きたいと思っております。ロータリーは今、世の中で良い評価を受けている人で、私たちと一緒にあって、世界で良い事をしようという意欲のある、意志のある方でしたら、クラブメンバー同意があれば、仲間に入って頂く事が出来る団体になっています。

メンバーの平均年齢の問題です。世界でも40歳未満の会員は5%に満たないです。今後は真剣に取り組まなければならない問題です。ロータリーの世界では、我が国の少子化が、そんなに直ぐに影響するとは思いませんが、若い人を仲間引き込もうとしますと、わが国のロータリーは、90%が毎週昼に例会をしています。それも平日に集中しています。高い入会金や会費など、若い方にとってどうなのか。クラブの独自性が許されるようになって、これからは思い切って、例会の持ち方も変更していくことも必要になって来ると思い

ます、愛知県には、愛知ロータリーEクラブというクラブができています。こちらは、インターネットでの例会が中心ですが、昨年のビジターの数は、年間2千人を超えております。日本各地、世界各国からインターネット例会に参加して、意見を言い、交流を図って、国際奉仕活動もしています。このクラブも、一つ参考になるかと思えます。

我が国に限らず、先進国の多くは、いくつかのボランティア団体が生まれて、それぞれの目的を持って奉仕活動を行っています。その中で112年として歴史を誇る我々ロータリーは、その基本理念を変えることなく、その財源の透明性を高める努力を重ねて、今日では一番高い評価を受けているボランティア団体になることが出来ました。それでも、まだ世間から認知度が低く、活動の内容の理解もイマイチが現実です。ガバナーとして、就任して、愛知県知事や名古屋市長に訪問をしました。名古屋地区でのマスコミ各社に訪問をして、我々の活動に対する理解や応援をお願いしております。今日の中部経済新聞にも、犬山RCの奉仕活動を載せて頂いております。両クラブの皆様方にも、お力添えを頂きたいと思えます。各クラブ、地区の奉仕活動については、毎月マスコミに情報を流すことにしています。ぜひ、皆様方のご協力をお願いします。地区としても、愛知県や各自治体に、ロータリーとしての働きかけを積極的にしていく準備をしています。自分たちの10年20年先となると、ちょっとキツイかもしれませんが、少なくとも3年5年10年先ぐらいのことを考えて、それに向けてのクラブの方向性を議論して頂きたいと思えます。

地区方針「今日からのロータリーを楽しもう」、地区ビジョンは「10年後20年後も地区の輝きが持続可能であること」、これは、各クラブの輝きがあることが前提です。その行動指針につきましては、5つをあげています。もうクラブの中で、これをベースに各委員会活動をして頂いています。是非、積極的に進めて頂き、ガバナー賞を取って頂きたいと思っております。

最後にガバナーとしてお願いすることは、大須賀ガバナー補佐には公式訪問を1回して頂きました。あと3回各クラブを訪問して下さいとお願いをしましたら、猛反発をくらいました。これはチームとして、ガバナー補佐1人でなく、チームで手分けして訪問して頂

くようにお願いしています。是非、皆様には歓迎をして頂き、色んなお話をして頂きたいと思っております。WFF へのご参加ご協力をお願い。名古屋で遠い所になりますが、会場にご家族お友達とお出掛け頂ければと思います。会員増強は、自分たちの奉仕活動をもっと活発に行うものにするための、会員増強であります。会員増強委員会だけの仕事でなく、皆様の力を合わせて、仲間を 3%増やして、ガバナー賞をお取り頂きたいです。ガバナー賞のもう一つの要件は、米山記念奨学事業は、平和友好の実現と、日本で理解者を増やすための目的と思ってご協力下さい。ロータリー財団への寄付は、3 年後に我々の戻ってくる活動資金の積立てだと思って、皆様方のご協力をお願いします。My Rotary については、会員一人一人がネットワークで情報を共有するためのもの、仲間の事を知るため、自分の事を知ってもらうためのものになることを国際ロータリーは願っています。是非、年度末までには 50%を越える登録目標を達成して頂き、ご活用をお願いしたいです。

今年度はあと 10 ヶ月です。皆さんと一緒にロータリー活動を楽しみながらやっていきたいと思っています。カナダのトロントで来年 6 月に世界大会が開かれます。ガバナーナイトは、6 月 24 日です。皆様方もこぞってお出掛け頂き、トロントでお目にかかるのを楽しみにしています。皆様の今日からのロータリーと一緒に楽しんで行きたいと思っています。どうぞ、よろしく申し上げます。両クラブの皆様のご健勝と両クラブの益々のご発展をお祈り申し上げまして、ガバナー卓話とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

★謝辞



して、誠にありがとうございました。

会長幹事懇談会では、和やかな雰囲気の中で、色々とお話をさせて頂きました。

神野ガバナーは、世界へ良いことをしよう

大木健市会長

本日は、第 2760 地区ガバナー神野重行様、地区幹事加藤定伸様、地区副幹事小林泰敏様のご訪問を頂きま

という基本理念の継承と、その活動の中で、ロータリーの楽しさを感じて下さいと申されています。

また、本日の卓話の中でも、色々とお話があり、ロータリーに対する想い、RI の対する考え、各クラブに対する提案、提言のお話を頂きました。

蒲郡 RC と豊川宝飯 RC との公式訪問合同例会が、このような素晴らしい会場で、ガバナーに訪問して頂け事に心より感謝申し上げます。蒲郡 RC の鈴木会長をはじめ、設営に関わられた多くの会員の皆様には、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。本日は、ありがとうございました。

★会長幹事懇談会

例会前に合同会長幹事懇談会が開催されました。ガバナーより色々と貴重なアドバイスを頂きました。



会報担当：中西弘徳会員・宇野秀幸会員